

# 上吊金具掘込 ジュニア 40/B(重量用引戸) 取付説明書

部品セット品番  
ジュニア40/B : 25903

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。

取付作業前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

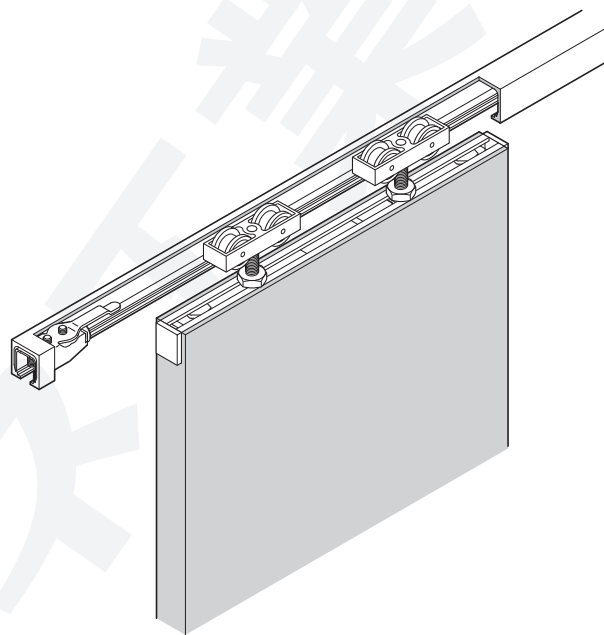
誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。本書の説明、注意事項を守ってください。取り付け後はお使いになる方に本書を渡し、いつでも取り出せるようにしてください。

## 本製品について

- 住宅やオフィスなど、さまざまな場所の片引き扉に使用できる上吊式の引戸金物です。
- ハンガーパーツを木口に掘り込むため、上レールと扉のすき間が小さい仕様です。

## 扉仕様

扉質量	40 kg 以下（1枚当り）
扉厚	35 mm 以上
高さ調整範囲	± 3 mm
取付方法	天井付け、壁付け



## 安全にお使いいただくために

- ⊘ 本記号はしてはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。
- ❗ 本記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)であることを告げるものです。

### ⚠ 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❗ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

### ⚠ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- ❗ 本製品の取付工事は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行なってください。取り付けに不備があると、本来の性能が発揮できないばかりではなく、破損などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- ❗ 本製品は建具を構成するための部品です。取付終了後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。
- ❗ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障や本来の動きに影響が出るおそれがあります。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないように、きれいに取り除いてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります。)
- ❗ 戸袋壁については、メンテナンスの為片側を取り外し可能な構造にしてください。

# I. 部品一覧

## お願い

商品が届いたらすぐに内容物の数と状態の確認を行ってください。

万一、不足や不備があったら、作業せずに直ちにご購入元までご連絡ください。

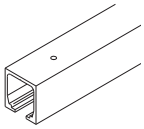
### 1 部品セット内訳

●40/Bセット:19475

部品		数量
①	 上ローラー	2
②	 上ストッパー	1
③	ハンガーパーツ { ハンガーレール …  ハンガーボルト … 	2
④	 戸当り	1
⑤	 下ガイド	1

部品と取付説明書		数量
⑥	 エンドキャップ	2
⑦	 アジャストレンチ 呼び 13+18	1
⑧	 六角棒スパナ 4	1
⑨	 十字穴付なベタツピンねじ 5 × 35	2
⑩	 六角ボルト M8 × 20	1

### 2 必要な部品とオプション部品

必要な部品		品番	
⑪		1800 mm	10215
		2000 mm	10216
		2500 mm	10217

オプション部品		品番
⑫	 戸当り (床付用)	20773
⑬	 下ガイドレール 1300mm	14540
⑭	 エンドキャップ (上レール用)	20901

オプション部品 (壁付仕様で使用)		品番
⑮	 壁付ガイド	14649
⑯	 壁固定プロファイル 2000mm	18404
⑰	 レール固定金具 (10ヶ入)	17785
⑱	 エンドキャップ (壁固定プロファイル⑯用)	21502

### 3 使う工具と準備していただくもの

- ・電動ドリル
- ・アルミニウム型材を切断できる機械または工具
- ・六角棒スパナ 3
- ・十字ねじ回し
- ・マイナスのねじ回し
- ・接着剤(下ガイドレール⑬接着用)
- ・厚さ 10 mmの板 (下ガイドレール⑬の押し込み用)
- ・粘着紙テープ
- ・ドリルビット Φ4.5 (金属用)
- ・タッピンねじ (呼び 4、ねじ頭の高さ 3.5 mm以下、直径 8 mm以下のもの。なお、ねじ部の長さは取付下地の材質や強度によって決めてください。)
- ・皿タッピンねじ 呼び 4、呼び 5
- ・丸タッピンねじ 呼び 3、呼び 5
- ・下ガイド⑤の取付ねじまたはプラグ
- ・かいもの

## お願い

### レールの穴について

レールには既に穴が開いていますが、その間隔が違うことがあります。

レールを取り付ける側に先に穴を開けなければならないときは、レールに別に穴を開けるか、天井付仕様の場合、既にレールに開いている穴と同じ間隔で天井に穴を開けてください。

### 本書に使用されている語句・用語について

本書に使用されている部品名などは、弊社カタログなどに記載されているものと異なる場合があります。ご了承ください。

### 免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、当社の影響の及ばないいくつかの要素から成り立っています。

したがって当社では、これらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責は負えませんので、ご容赦させていただきます。ご理解のうえ、ご了承いただきますようお願いいたします。

## II. 寸法図

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組み立てによる誤差や、材料そのものの変形などを考慮していません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断などの加工を行ってください。

※ 扉に部品が組み込まれている場所の寸法は、部品の寸法です。加工寸法ではありませんのでご注意ください。

※ 寸法のうち“以上”、“以下”を含んだ寸法は、その範囲ならどこにでも取り付けられることを表していますが、なるべく表示寸法を採用するようにしてください。その寸法では取り付けできないときは、その側にだけ、わずかに動かせるご解釈ください。

※ ~を含んだ寸法は、両端の数字を含んでおり、この数値の間はどれを採用されても問題ありません。

### 1 取付部分の詳細寸法

上レール①の長手方向の中心線と下ガイド⑤の中心線は、同一線上に置いてください。

扉上面と上レール①下面とのすき間 (以下、「上すき間」といいます。下図Ⅱ-1-1を参照ください。) と扉下面と床上面とのすき間 (以下、「下すき間」といいます。下図Ⅱ-1-1を参照ください。) について。

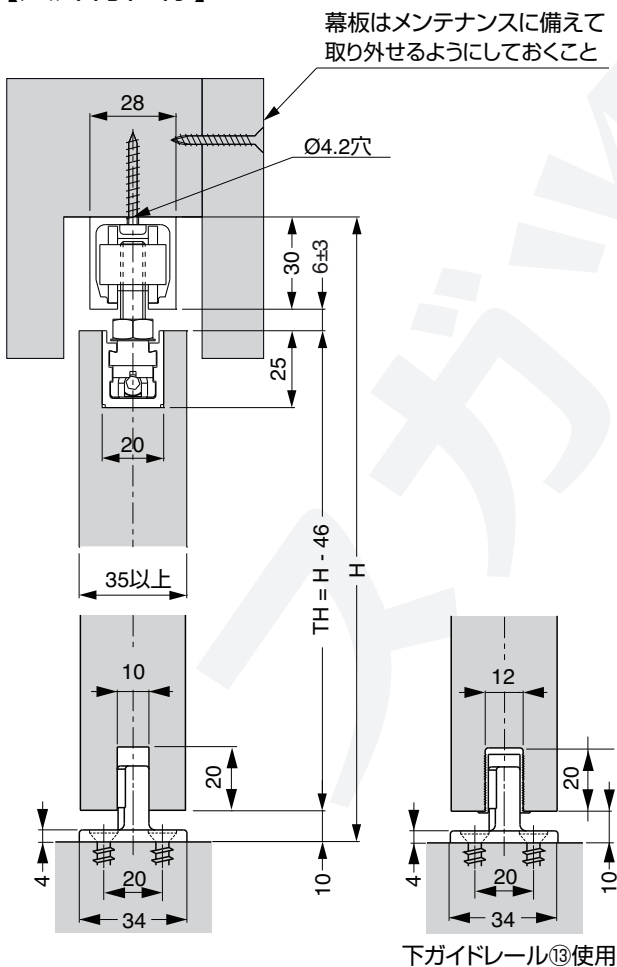
<1> 上すき間の寸法は、6 mmです。これを設計寸法としてください。

<2> 下すき間の寸法は、10 mmです。

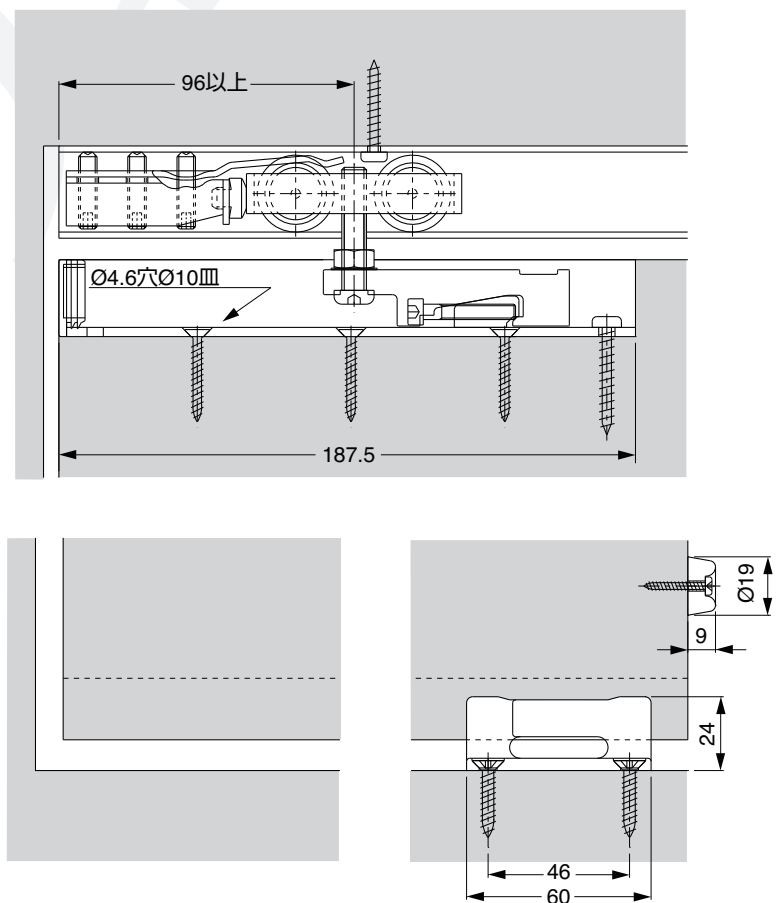
<3> 扉の高さを上下それぞれに 3 mm調整できます。

<4> 幕板を付けたり、戸袋収納式にする場合は、設置やメンテナンスのために取り外せるようにしてください。

#### 【天井付仕様】

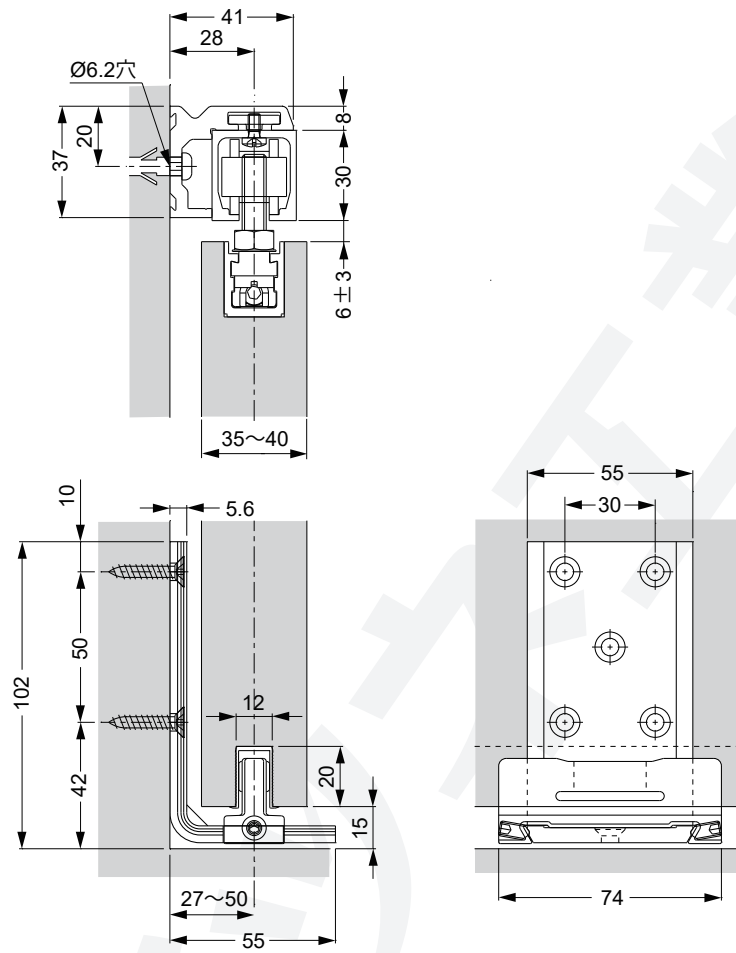


〔図Ⅱ-1-1〕



〔図Ⅱ-1-2〕

【壁付仕様】



下ガイドレール<sup>⑬</sup>使用

〔図 II-1-3〕

## Ⅲ. 取付手順

### 1 扉の外形寸法と開口間口の寸法を確認します

- (1) 寸法図をご覧になり、確認してください。  
※ ハンガーパーツ③取付用の溝が扉上辺にあります。

### 2 現場に取付用の墨を落とします

- (1) 上レール⑪の長手方向の取付中心線を引いてください。
- (2) 下ガイド⑥の位置を決めてください(P.4 図Ⅱ-1-1)。  
<1> 下ガイド⑥の位置は、図を目安に位置を決めてください。  
<2> お使いのねじ、またはプラグに適した径と深さの穴を開けてください。

### 3 レール類を切断します

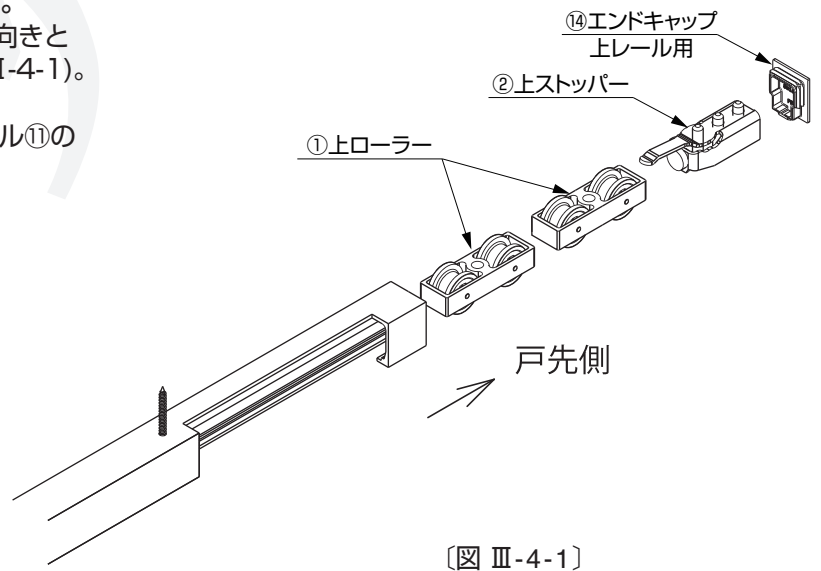
※ 切断面や加工面の切粉やバリまたは返りがないように、きれいに掃除してください。  
これらが残ると、走行のための操作力が増えたり、騒音が発生したりします。

- (1) 上レール⑪を図面に従って切断してください。  
<1> 上レール⑪を切断したとき、その端から 100 mm以内に取付穴が残らないことがあります。そのときは、端から 100 mm以内の場所に、径 4.5 mmの穴を開けてください。
- (2) 下ガイドレール⑬をお使いのときは、下ガイドレール⑬を(扉幅 - 4)mmで切断してください。

### 4 【天井付仕様】 上レール⑪を仮組みします

- (1) 上レール⑪に走行部品を組み込んでください。  
上ストッパー②、上ローラー①を2個、図の向きと順序で上レール⑪に組み込んでください(図Ⅲ-4-1)。

エンドキャップ⑭をお使いのときは、上レール⑪の端にかぶせてください。



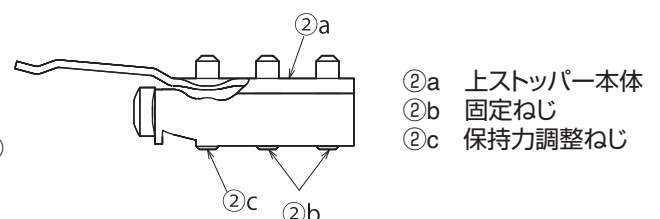
〔図Ⅲ-4-1〕

- (2) 上ストッパー②を上レール⑪に仮止めしてください。

<1> 固定ねじ②bを六角棒スパナ 3 で上ストッパー②が落ちない程度に、軽く止めてください。

- (3) 上ローラー①を上ストッパー②に噛ませるか、上レール⑪内を自由に動かないように粘着紙テープで止めてください。

※ 作業中に上レール⑪を振り回した際、上ローラー①が不意に動いて思わぬけがをすることがあります。

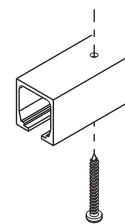


〔図Ⅲ-4-2〕

## 5 【天井付仕様】上レール⑪を取り付けます

### (1) 取付面に上レール⑪の取付穴の位置を決めてください。

- <1> 取付面に上レール⑪を置き、そこに開いている穴の位置に合わせて印を付けてください。
- <2> 印を付けた位置にタッピンねじ 呼び 4 に、またはプラグをお使いのときはそれに適した径と深さの穴を開けてください。



### (2) 上レール⑪を天井に止めてください(図Ⅲ-5-1)。

- <1> 上レール⑪を天井に、枠の材質に応じた長さのタッピンねじ 呼び 4 で止めてください。
- <2> 上レール⑪に開いている穴は全部使ってください。

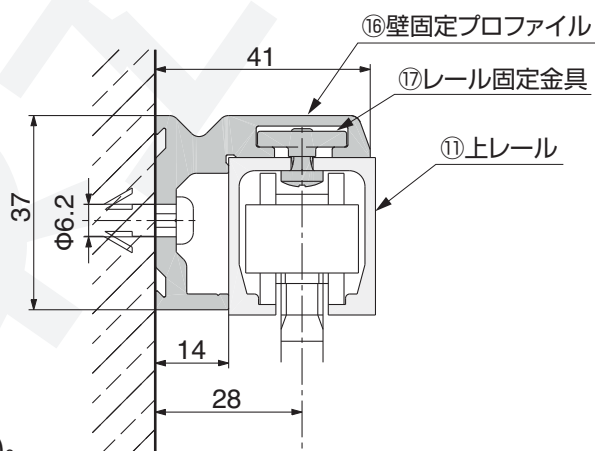
〔図Ⅲ-5-1〕

( P.8 **7** へ進む)

## 6 【壁付仕様】上レール⑪を取り付けます (オプション部品⑯～⑱使用)

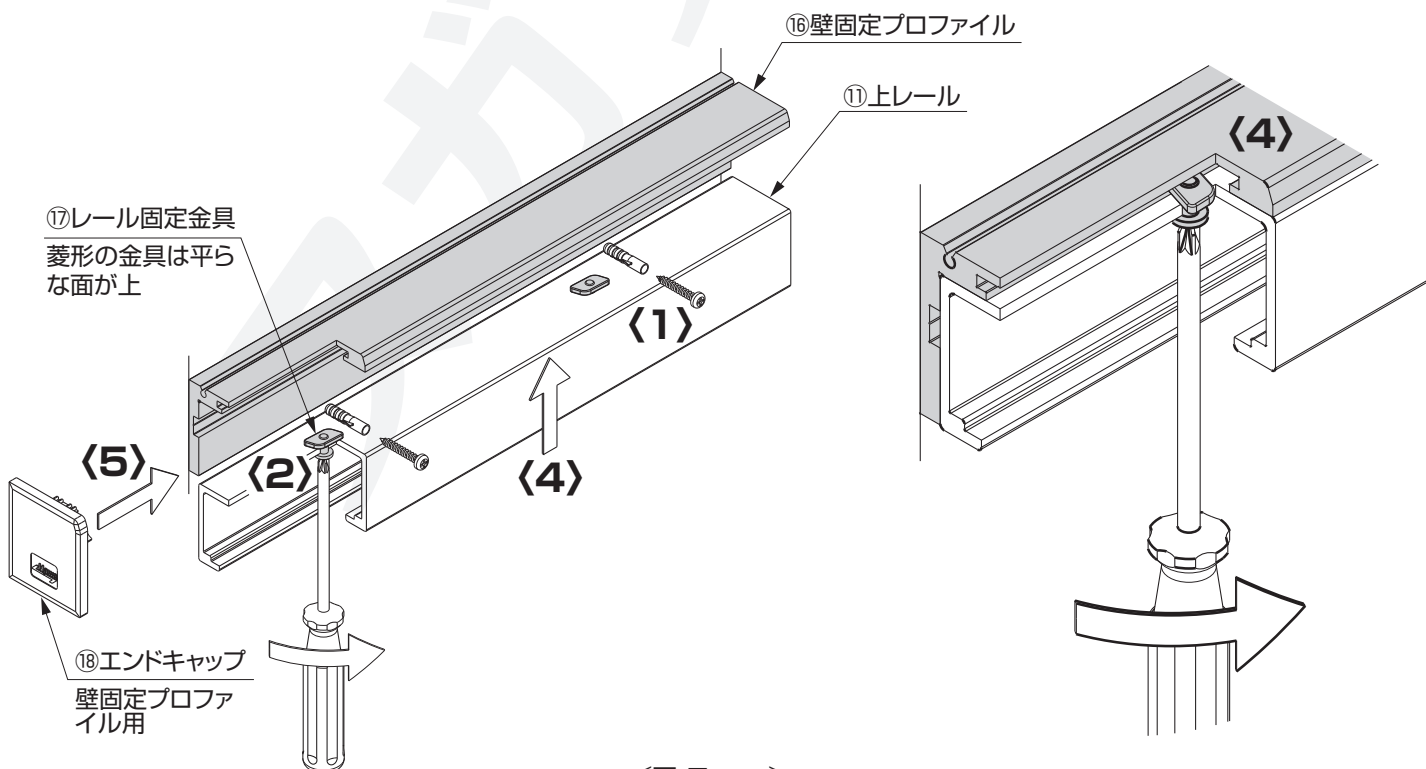
### (1) 上レール⑪を壁へ取り付けます

- <1> 壁固定プロファイル⑯を壁にしっかり固定してください。
- <2> レール固定金具⑰を上レール⑪の上部穴に通し、2～3山程度ねじ込んでください。
- <3> 上レール⑪に部品を組み込んでください。  
( P.6 **4** 参照)
- <4> 上レール⑪を壁固定プロファイル⑯にあてがい、レール固定金具⑰の菱形金具を壁固定プロファイル⑯上部の溝に挿入し、ねじを締め込みながら掛けてください。
- <5> 固定プロファイル用のエンドキャップ⑱をはめてください。



〔図Ⅲ-6-1〕

( P.8 **7** へ進む)



〔図Ⅲ-6-2〕

## 7 下ガイドレール⑬（オプション）を扉の底面に取り付ける場合

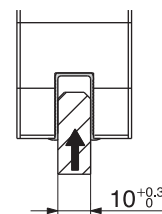
(1) 下ガイドレール⑬を扉の溝に接着してください。

<1> お使いになる接着剤の取扱説明書に従って接着してください。

※ 下ガイドレール⑬の材料は、ABSです。

(2) 下ガイドレール⑬の内側に、厚さ 10 mmの板を押し込んで、下ガイドレール⑬を溝に押し込んでください(図Ⅲ-7-1)。

(3) はみ出た接着剤をきれいに拭いてください。



〔図Ⅲ-7-1〕

## 8 ハンガーパーツ③を扉に取り付けます

(1) ハンガーパーツ③から、ハンガーレール③aを外してください。

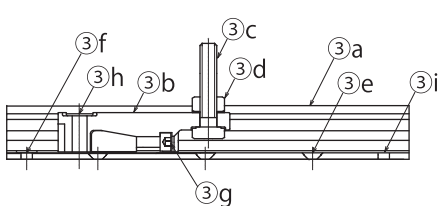
固定ボルト③gを六角棒スパナ⑧でゆるめると外れます。

(2) ハンガーレール③aを扉に取り付けてください(図Ⅲ-8-2)。

<1> ハンガーレール③aを扉の上辺の溝に、皿タッピンねじ 呼び 4 で③eの穴に止めてください。

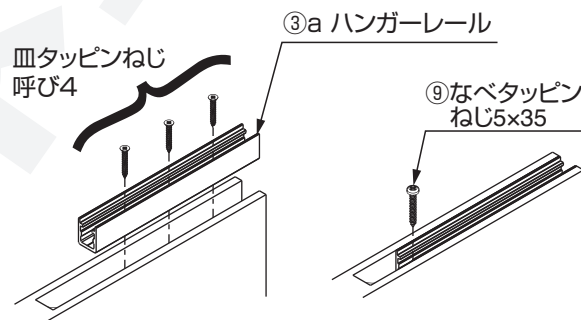
<2> ハンガーレール③aの扉の一番中央寄りの穴③fには、なべタッピンねじ5×35⑨を使ってください(図Ⅲ-8-3)。

<3> ハンガーレール③aの扉の戸先側の穴③iには何もしないでください。



〔図Ⅲ-8-1〕

- ③a ハンガーレール
- ③b ハンガーパーツ本体
- ③c ハンガーボルト
- ③d ハンガーナット
- ③e 取付用皿穴
- ③f 取付用丸穴
- ③g 固定ボルト
- ③h ハンガーパーツ固定ボルト用ねじ穴



〔図Ⅲ-8-2〕

〔図Ⅲ-8-3〕

(3) 戸当り④を適当な位置に丸タッピンねじ 呼び 3 で取り付けてください。

※扉を縦枠に当てない仕様で戸当り④が取り付けできない場合はオプションの戸当り（床付用）⑫を取り付けてください（P.10 10 (3) 参照）。

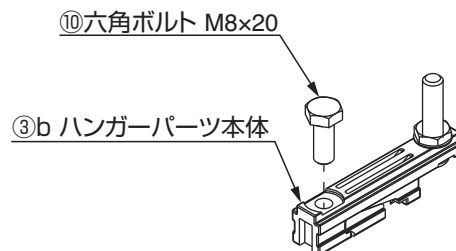
## 9 扉を吊ります

(1) 下ガイド⑤を皿タッピンねじ 呼び 5 で床に取り付けてください。

壁付ガイド⑮（オプション）を取り付ける場合は P.5 の図を参考にしてください。

(2) 戸袋収納式の場合は、ハンガーパーツ③を固定する際に以下の作業を行ってください。

<1> 六角ボルト M8×20⑩ を戸尻側のハンガーパーツ本体③bに組み込んでください(図Ⅲ-9-1)。

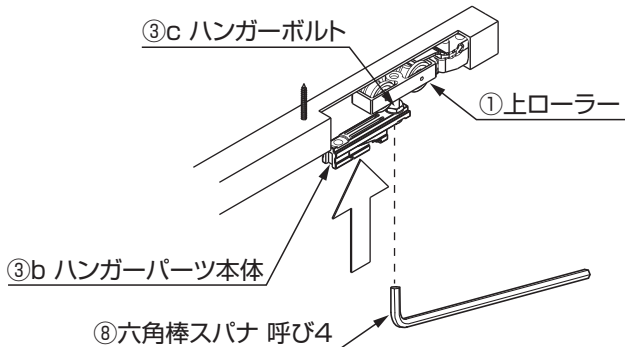


〔図Ⅲ-9-1〕

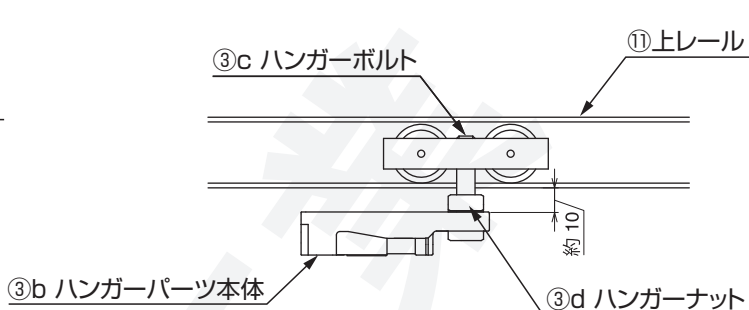


### (3) ハンガーパーツ本体③bを上ローラー①に組み込んでください(図Ⅲ-9-2)。

- <1> ハンガーナット③dをゆるめてください。
- <2> ハンガーボルト③cを上ローラー①にねじ込んでください。  
戸袋収納式の場合は(2)で組んだハンガーパーツを戸尻側の上ローラーにねじこんでください。
- <3> ハンガーナット③dの下面と、上レール⑪の下面とのすき間が10mm位になるところまでで止めてください(図Ⅲ-9-3)。



〔図Ⅲ-9-2〕



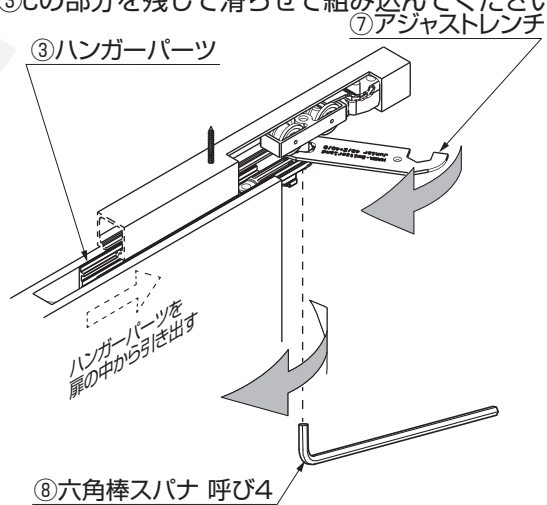
〔図Ⅲ-9-3〕

### (4) 扉を吊ってください。

- <1> "かいもの"を下ガイド⑤の両脇に、扉の幅に近い、小さい間隔で置いてください。
- <2> 上ローラー①を上ストッパー②から外してください。
- <3> 扉の下辺の溝を下ガイド⑤に入れ、"かいもの"の上に扉を置いてください。
- <4> ハンガーパーツ本体③bをハンガーレール③aにハンガーボルト③cの部分を残して滑らせて組み込んでください。

### (5) 扉の高さを調整してください。

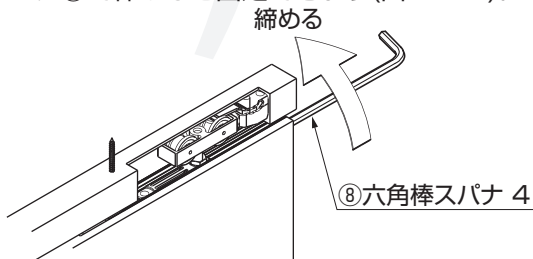
- <1> ハンガーボルト③cを六角棒スパナ 4⑧で回して、扉の高さを調整してください。
- ※ 上すき間と下すき間についてはP.4の図Ⅱ-1-1を参照ください。
- [1] ハンガーボルト③cを締めるかゆるめるかで、下すき間が10mmになるようにしてください。
- [2] このとき、上すき間は  $6 \pm 3$  mmに納まるようにしてください。
- [3] 上すき間が[2]の寸法範囲からはみ出してしまったときは、上すき間がその寸法範囲内いっぱいになるよう下すき間を調整してください。このときでも、下すき間は  $10 \pm 3$  mm以内に納めてください。
- [4] 扉の高さが決まったら、アジャストレンチ⑦で、ハンガーナット③dを締めて高さを固定してください。



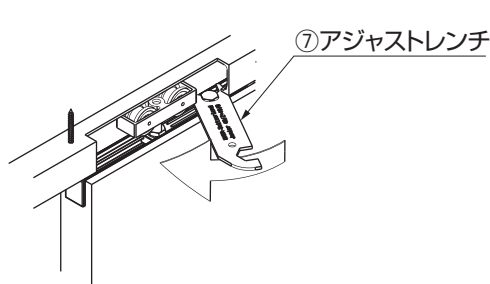
〔図Ⅲ-9-4〕

### (6) ハンガーパーツ本体③bを固定してください。

- <1> ハンガーボルト③cの中心が扉の端から95mmの位置まで押し込んでください。
- <2> ハンガーパーツ本体③bにねじ込んである固定ボルト③gを六角棒スパナ 4⑧で締めてください(図Ⅲ-9-5)。
- <3> 戸袋収納式の場合は、戸尻側のハンガーパーツ本体③bにねじこんでいた六角ボルト M8×20⑩をアジャストレンチ⑦で締めると固定できます(図Ⅲ-9-6)。

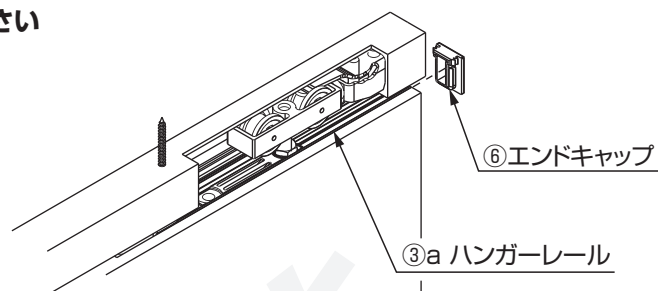


〔図Ⅲ-9-5〕



〔図Ⅲ-9-6〕

(7) ハンガーレール③aにエンドキャップ⑥をかぶせてください  
(図Ⅲ-9-7)。

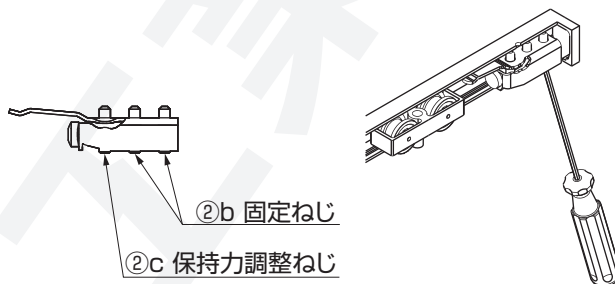


〔図Ⅲ-9-7〕

## 10 上ストッパー②を固定します

(1) 上ストッパー②の位置を決めてください(図Ⅲ-10-1)。

- <1> 扉を開け、固定ねじ②b、保持力調整ねじ②cをゆるめて、レールの戸先側の先端と約100 mmのすき間ができるように、上ストッパー②を中央寄りに移動させてください。
- <2> 扉を静かに閉めてください。
- <3> 上ローラー①が上ストッパー②のふところ(板ばねの下)に入っていることを確認してください。
- <4> 上ストッパー②がある位置に印を付けてください。
- <5> 扉を静かに開けてください。
- <6> 上ストッパー②を印をつけた場所に戻して、固定ねじ②bを締めて上ストッパー②を固定してください。



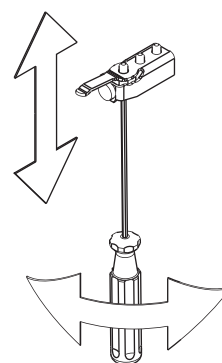
〔図Ⅲ-10-1〕

(2) 上ストッパー②の保持力を調整してください(図Ⅲ-10-2)。

- <1> 保持力調整ねじ②cを締めてください。
- <2> 扉を静かに開け閉めしながら、上ストッパー②の保持力を調整してください。

(3) 戸当り④が取り付けできない(扉を縦枠に当てない仕様)の場合、戸当り(床付用)⑩(オプション)を取り付けてください。

- <1> 扉が閉じたときの戸先の位置の床に取り付けてください。
- <2> 扉が開いたときの戸尻の位置の床に取り付けてください。



〔図Ⅲ-10-2〕

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※ 弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.10 0376-7